

幼なき日 砂の浜辺で 西瓜割り なべさん

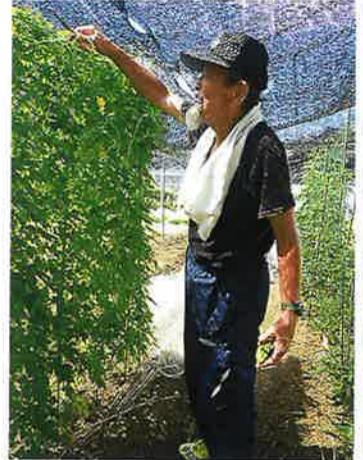
朝顔は 昨日と今日は ちがう顔 政

海ツバメ 波の音きき 宙返り God



## 野菜づくり、真っ最中

いよいよ夏本番。農地とひと花センター内のプランターで取り組んでいる野菜づくりですが、自粛期間中も『密』を避けこつこつと世話を続けました。その結果トマトや獅子唐、茄子や胡瓜など豊作。お裾分けできるほどになりました。

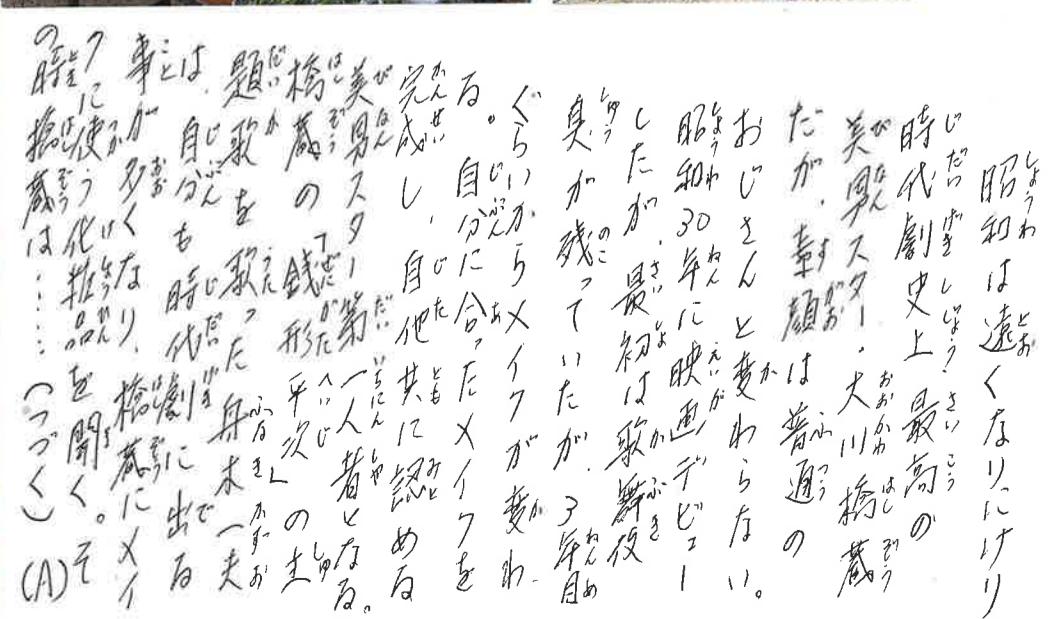


## 新今宮フェスに出店しました

地域活動の一環として、ひと花センターで作った野菜を地域の方に届ける絶好のチャンス。ひと花での活動をアピールするよい機会にもなりました。



7月31日の新聞を読みました。一面のトップ記事にコロナウイルスによる死者が1000人を超えた事を確認してその内の8割が高齢者。我々高齢者は何を感じてもおかしくないと思うと不安と危機感に心が搖れます。こわいですね。それが加えて7月に入り大雨が続き特に九州熊本県・福岡県は被害が大きくなり被害が出ます。日本烈島を抜びり最大レベルの大暴風雨が本州を過ぎてテレワークを観る方に心配傷みます。今年はコロナと大雨大風これが先にどうなるのでしょうか。明日立一本プロ野球と阪神タイガースが少しずつ調子を上げて来て「千葉勝」が今日と「広島戦勝」をしましたよ。面白く成って来ました。虎咬えろ。政



## ねぶたづくり

始まりました。今回は金魚ねぶたをモチーフにして。乞うご期待！

忘れ得ぬ 原爆 世界の片隅で 一葉

アイドアが出す 危険します 中澤

風涼し 風鈴の音が 耳などる なべさん



自粛期間中はお休みしていた「表現プログラム」。再スタートの一弾は、樋口ミユさんの『演劇ワークショップ』からでした。身体的な表現を通して、新型コロナ対策に配慮したメニューを用意して頂きました。「外で大声を出してストレスを発散」「見えないガラスを二人で運ぶ(そのうちガラスが見えるてくる)」など非接触で「密」を避けながら、自粛期間中のモヤモヤをスッキリ解消するような内容でおおいに盛り上りました。

**書のワークショップ**  
(習字) Penmanship ペンmanship  
久しぶりの書道の時間です。  
今日はこういのうちかに文字を書く事です。私は割りばしを使用しますので直接には書けません。そこで先生が半紙に書いた文字をうがって貼ってはどうかとアドバイスを受けてみました。けこういい作品になりました。いつも先生にはいろんな方法を教えてもらひ嬉しい思っています。これからも新しいものじよせんしていきたいと思つています。かろん文字もうまくなりたいですとくさん。



『今日の出逢いを体験する』も「密」を避けて。

## 表現プログラム、再開しました。

### 私のよもやま話

私の田舎では、小さな話を大きく膨らまし、面白、おかしく作り話をする人を、ひょうげ玉と、言います。おそらくひょうきん者の事です。子供の時、近所に国防色の、長いコートを着て、水筒を肩に掛け、戦闘帽を着た、当時、80歳位の第一次世界大戦から、帰って来た、甚六さんと言う、お爺さんが、戦争の話や、昔話を良く聞きました。その中で、今でも、はっきり覚えているのは、盆前に、近所、総出で、墓の掃除や草刈りして、その夜、村の若い衆で肝試しが、始まって、竹の花立を2本自分の家の墓に打込んで来る墓は、村はずれの、山の中で、昼間でも、薄暗く、夜一人では、嫌です。一杯、呑んだ、勢いで、行った人が、帰って来ない。皆、心配して、見に行ったら、裸で、田植えの、済んだ田んぼの中で、腰抜かして、震えていたそうです。真相は、自分で、浴衣の裾に竹を打ち、帰ろうと、したら後から、誰か引っ張ってる。命からがら逃げて、田んぼの中で腰抜かしたらしい。甚六さんに、それは、誰って聞いても、教えてくれませんでした。嘘か、本当かも、分からぬやっぱり、ひょうげ玉の昔話でした。

桐井でした。



マスク着用ですが『俳句の時間(創作俳句)』も再開。研修の学生さんも参加して賑やかでした。